

水木菜花書画展

演ありて縁つむぐつれづれに

ZERO通信連載 水木菜花の
つれづれ芝居 原画展



2012年
1月23日(月) - 29日(日)

全労済ホール／スペース・ゼロ
～ ギャラリー ～

AM11時～PM7時 入場無料
(初日は15時より)

主催：全労済ホール／スペース・ゼロ

制作：菜花クリエイト
オフィス カウス



水木菜花書画展

～ 演ありて縁つむぐつれづれに ～

スペース・ゼロ機関紙「ZERO通信」連載“水木菜花のつれづれ芝居”原画展

全労済ホール／スペース・ゼロの機関紙「ZERO通信」は、全労済の関連会社の内部機関紙としてホール等での催事の情報を発信していて、多くの方に読まれています。2008年1月から始まった“水木菜花のつれづれ芝居”は歳時記と芝居事を織り交ぜたエッセイで、文と挿絵を水木菜花が寄稿しています。今展示は紙面ではモノクロでしか見られなかった挿絵の原画、これまでの4年間24点を展示します。また、近年の水木菜花の創作テーマ“デザイン漢字”の作品から「2012年水木菜花カレンダー」に登用した作品を展示します。

水木菜花のつれづれ芝居

私たちが日常何気なく使っている言葉の中には、芝居用語がたくさんあります。「見得」もそのひとつ。外見を飾ったり、うわべを取繕ったりすることを「見えを張る」、自信たっぷりことさら大げさに言い放つことを「大見えを切る」などと言ったりしますが、これはもともと歌舞伎用語で、役者が演技の途中で動作を止め、力を内に充満させ、両目を寄せて睨むようにポーズを取る、その型を言います。見得が決まると、タイミングよく「ツケ」という効果音が入り、大向こうから、「〇〇屋！」などと声がかかります。役者も観客もテンションは最高潮に達し、小屋全体がぐっとう引き締まる瞬間、歌舞伎鑑賞の醍醐味のひとつですね。さてこの「見得を切る」のを合図に、裏方さんたちは次の場面転換の支度に走ります。役者が見事な見得を切れば、裏方としてもキッカケがつかみやすく、引き締まった舞台になるといったところでしょうか。役者が見得を切ると裏方が走る（駆ける）—「切るを駆ける」で「切る駆ける」「きっかける」、もうお分かりでしょう。「キッカケ」という言葉はこんなところから来ていると語られています。キッカケは「やりきる、だしきる」など動作の終わりの言葉と「やりかける、たべかける」など、初めを表す言葉が合わさってできています。「見得を切る」のを「きっかけ」に場面展開されるように、私たちの日常も、あるきっかけで、予期せぬ新しいことが起るもの。どうせなら、堂々と大見得切って、良いキッカケをつかみたいものです。そして、それに固執することなく、一回一回の大見得を、しっかりと立て（くっきりと際立たせて）切って（切り捨てて）忘れる。いくこと、つまり「断ち切って」いくことも忘れずになりたいと思います。



新連載

水木菜花のつれづれ芝居

あけましておめでとうございます。
以前、スペースゼロギャラリーで個展をさせていただいたご縁でこのコーナーを担当する事になりました水木菜花です。季節ごとに、身近な演劇にまつわる言葉に触れながら、読者の皆様の一服の場にしていだければと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。
さて、年頭にふさわしい言葉として「初心忘るべからず」を選んでみました。
父親阿弥の遺訓をまとめた“風姿花伝”を著した世阿弥の言葉です。また修練のあり方として「秘すれば花なり。秘せずば花なるべからず」も世阿弥の金言とて有名です。物事には始まりがあってさまざまな経験を経て次の段階へと上っていきますが、その進み方は年齢や環境によって変化し、後退することもしばしば。咲くべき時を知って咲く「花」のように、その時々「花」を最大限に咲かせること、またその「時の花」に溺れることなく新たな「花」を咲かせていける力は、自らを輝かせる。その真髄は「初心を忘れぬこと」であり、その生き方を見直す上で必要な信念であると教えられます。
新年に信念を振り返し、今年の「時の花」を咲かせて参りたいものです。
私事ですが、この春ポストカードブックが出版されます。それに併せて原画を中心にした作品展をスペースゼロギャラリーで開催いたします。ぜひお運びください。



水木菜花書画展「いつも心はのほほんのほほん」
2008年3月15日(土)～20日(木)11:00～19:00
(※15日は13:00より ※20日は17:00まで)

水木菜花

愛知県名古屋市出身
日本大学芸術学部演劇学科 卒業

女優、企業セミナー講師等で活躍する中、創作活動を始め。書・画・詩の三要素が一体となった表現を目指し、“心仏画”“梵字画”“AWA (ホツマツタエ)”“のほほんシリーズ”“散華”など独自のテーマに取り組んできた。近年は漢字を画にとらえる表現に挑み創造の道を深めている。創作活動の傍ら、音楽とコラボレートして書を描くライブパフォーマンスにも挑戦している。

個展

- 2003年10月 たおやかな絆 一祈りに抱かれてー (全労済ホール／スペース・ゼロ ギャラリー) 新宿
- 2008年 3月 いつも心はのほほんのほほん (全労済ホール／スペース・ゼロ ギャラリー) 新宿
- 4月 いつも心はのほほんのほほん (ギャラリー両口屋是清) 名古屋
- 7月 いつも心はのほほんのほほん (FEUCHEROLL フシュロール) フランス パリ郊外
- 7月 いつも心はのほほんのほほん (ギャラリー風蝶庵) 京都
- 2010年 3月 春散華 ～夢 るふらん～ (ギャラリー両口屋是清) 名古屋

2012年

1月23日(月) - 1月29日(日)

全労済ホール／スペース・ゼロ ギャラリー

AM11時～PM7時 入場無料
(※初日は15時から)

主催:全労済ホール／スペース・ゼロ

制作:菜花クリエイティブ／オフィス カウス



全労済ホール／スペース・ゼロ
モバイルサイトQRコード



至四ツ谷
新宿駅南口徒歩5分

〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-12-10

お問合せ
全労済ホール スペース・ゼロ TEL03-3375-8741(代) 菜花クリエイティブ TEL03-3444-9039
ギャラリー直通 TEL03-5371-2689 E-mail:saika-c@y5.dion.ne.jp
(*会期中開場時間のみ) オフィスカウス TEL 03-3446-5725
水木菜花公式サイト http://www.mizuki-nabana.com/

全労済ホール SPACE ZERO スペース・ゼロ